



100 年の木工家具づくりが導いた、 国産檜材の地産地消サウナ「kupu sauna」誕生。

会期：2025 年 10 月 16 日（木）～ 11 月 9 日（日）

レセプション：10 月 15 日（水）18：00～

会場：maruni tokyo 東京都中央区東日本橋 3-6-13

トークイベント：10 月 15 日（水）19：00～20：00

株式会社マルニ木工は、100 年にわたり培ってきた木工の技術と審美眼を活かし、新たな挑戦として「kupu sauna（クプサウナ）」を発表します。“kupu”とはフィンランド語で「ドーム」「覆うもの」を意味し、その名の通り、人をやさしく包み込むフォルムを特徴としています。そのアイコニックなハーフドームにふさわしい素材として選んだのが、国産の檜材。伝統的なバレルサウナを現代的に再解釈し、機能とデザインを高い次元で両立。家具メーカーならではの発想から生まれたジャパンオリジナルの地産地消サウナです。

1928 年の創業以来、マルニ木工は「木とともに生きる」を理念に、広島で家具をつくり続けてきました。しかし近年、北米やヨーロッパ産の広葉樹資源の高騰に直面し、私たちは改めて日本の森に目を向けました。豊富に存在する檜や杉といった国産の針葉樹を、家具の枠を超えて活かす方法はないか？ その答えのひとつが、国産サウナの先駆者「ONE SAUNA」との協業です。いま、サウナは「心と体を整える空間」として、世界中のホテルや別荘で欠かせないライフスタイルの一部となっています。そこに求められるのは、デザイン性、快適性、そしてプライベート感。家具メーカーだからこそ実現できる技術と視点で、その期待に応えたいと考えました。

この挑戦をかたちにしたのが、プロダクトデザイナーの熊野亘氏です。フィンランドでの長期留学経験を持ち、北欧のサウナ文化を体感してきた熊野氏は、木工と人の営みを結びつける独自の視点を備えています。今回のプロジェクトでも、檜の香りや肌触り、光の反射や音の静けさにまで配慮しながら、「人生の質を高める空間」としてのサウナを描き出しました。



kupu sauna

精緻な木工とデザインが響き合うサウナ

「kupu sauna（クプ サウナ）」は、100年にわたり家具づくりを続けてきたマルニ木工が挑む、新しいプロダクトです。奈良・吉野の檜を用い、伝統的なバレルサウナを現代的にアップデート。やわらかに人を包み込むハーフドーム型のフォルムは、熱と蒸気を心地よく循環させ、使う人それぞれに寄り添った体験を生み出します。家具職人の精緻な技術とデザインの発想が交わることで、サウナは単なる入浴設備を超え、暮らしに調和する“新しい住まいの道具”として生まれ変わりました。

素材 | 吉野檜と北欧の知恵

奈良・吉野の檜を採用。古くから日本の風呂文化を支えてきたこの木は、香りや手触りに加え、時を経るほどに美しさを増していきます。フィンランドでサウナ材として使われるハーパー（アスペン）に近い特性を持ち、針葉樹の中でも硬さがあり、比重も近いのが檜。地元の森の資源を活かすことで、サウナを通じた地産地消の循環も目指しています。

構造・機能 | バレルサウナを進化させた構造

伝統的なバレルサウナは、熱を均一に伝え、蒸気を効率よく循環させるサウナ本来の機能を最大限に引き出します。「kupu sauna」は、この樽型フォルムをハーフドーム型へと進化。熱が高い位置に滞留するため、体調や好みに応じて上下段を選びながら、自分だけのサウナ体験を楽しめます。また、底板のスリットに側板を一枚ずつはめ込む工法は、マルニ木工が長年培った木工家具づくりの知恵そのもの。堅牢さと気密性を両立させることで、快適で持続的な温熱空間を実現しました。

デザイン | 環境に調和し、拡張するサウナ

家のかたちを思わせる端正なフォルムは、従来のバレル型のようにデッドスペースを生まず、壁際にすっきりと収まります。さらに、モジュールを連結することで多人数用や多様なレイアウトにも柔軟に対応可能。下段のベンチは取り外して屋外で利用できるなど、家具のようにフレキシブルに使えます。単体としても存在感を放ちながら、空間や暮らしに合わせて形を変えられる「kupu sauna」は、家具メーカーならではの審美眼とプロダクトデザインの発想が交差した、新しい暮らしのパートナーです。



DESIGNER

熊野 亘（くまのわたる）

「kupu sauna」のデザインを担ったのは、プロダクトデザイナーの熊野亘氏。フィンランドに長く滞在し、現地の暮らしとサウナ文化を体感してきた経験を持つ彼は、素材と人との関わりを常に見つめながら、かたちを生み出してきました。今回のプロジェクトでも、檜の香りや肌ざわりをいかに心地よく届けるかに心を砕き、熱と蒸気の循環を考え抜いたハーフドーム型のフォルムを導き出しました。単体としての存在感に加え、連結による拡張性を備えた設計は、暮らしや環境に寄り添うサウナの新しいあり方を示しています。

PROFILE

2001-08年にフィンランドへ留学、帰国後 Jasper Morrison 氏に師事。2011年にデザインオフィス“kumano”を設立し、環境、機能性、地域性など、背景のあるデザインをテーマに NIKARI、CAMPER、karimoku、天童木工などの国内外のメーカーとプロジェクトを手掛ける。2021年にスイスのローザンヌ州立美術学校（ECAL）にて教鞭をとり、同年秋より武蔵野美術大学准教授に就任。

PARTNER

ONE SAUNA（ワンサウナ）

「kupu sauna」の開発をともに進めたのは、フィンランド式サウナを日本の環境に合わせて提案してきた株式会社 Libertyship が手がけるサウナブランド「ONE SAUNA」です。これまで地域材を活かしたオリジナルサウナの設計・施工を数多く手がけ、日本各地にサウナ文化を広げてきました。彼らが重ねてきた知見は、素材や構造の選定だけでなく、サウナが“場”として人にどう作用するかという体験設計にも及びます。今回の「kupu sauna」においても、熱や蒸気の循環を最大限に引き出す構造、使う人の身体感覚に寄り添う空間づくりなど、随所にそのノウハウが息づいています。家具メーカーであるマルニ木工の精緻な技術と同社の出会い。この協業によって「kupu sauna」は、木工とサウナ、双方の領域を越えて生まれる、新しいステージを切り拓きました。

PROFILE

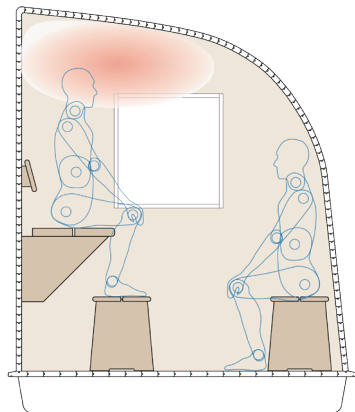
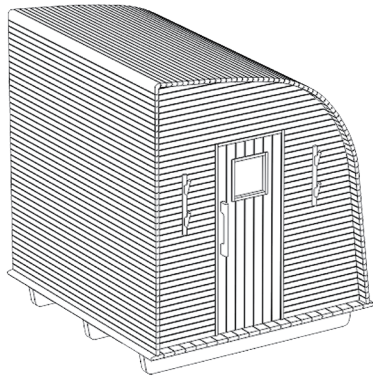
株式会社 Libertyship（本社：宮城県宮崎市青島、設立：2019年）は、「世の中に新たな体験価値を創る」をミッションに掲げる企業です。2021年にはサウナブランド「ONE SAUNA」を立ち上げ、宮城県産材を活用した日本初の国産バレルサウナを発表。その後、北海道・宮城・鳥取・香川・宮崎へと生産パートナーを拡大し、2022年には「地産地消のサウナづくり」によりグッドデザイン賞を受賞しました（<https://onesauna.jp/good-design>）。

現在は、地域材を活用したバレルサウナやサウナ施設の設計・施工を全国で展開し、社会課題である国産木材の活用促進に取り組んでいます。施設の企画から体験設計までを一貫して手がけ、数多くのサウナプロジェクトを実現。さらに、サウナを軸とした地域資源の循環やコミュニティづくりにも注力し、日本における新しいサウナ文化を提案しています。

HP：<https://libertyship.jp> ONE SAUNA：<https://onesauna.jp>

ONE
SAUNA

PRODUCT OUTLINE



名 称：kupu sauna (クプ サウナ)

basic

サイズ：W1,920 × D2,000 × H2,240 mm

素 材：吉野ヒノキ（無塗装）

価 格：¥4,455,000（本体¥4,050,000）※ サウナ本体+ヒーター

デザイナー：熊野 亘

<標準装備>

サウナヒーター：電気ヒーター式（helo：Hanko 200V [単相 or 三相]）

※配電盤含む ※シルバー or 黒よりお選びいただけます

その他：固定式ベンチ / 移動式ベンチ（小・大） / ヒーターガード /

遮熱板 / ドア脇のコートハンガー（2 個） / 温度計

<配送施工費>

価 格：¥660,000（本体¥600,000）～

※諸経費含む。

※電気工事が必要となります。

※配送エリア、設置場所により異なります。

<オプション>

・IoT サウナコントローラー、屋外対応（ルーフィング仕様 / テント張り仕様）

EVENT OUTLINE

■ kupu sauna ローンチイベント

会期：2025 年 10 月 16 日（木）～ 11 月 9 日（日）

会場：maruni tokyo 東京都中央区東日本橋 3-6-13 Tel. 03-3667-4021

レセプション：10 月 15 日（水）18：00～

トークイベント：10 月 15 日（水）19：00～20：00 定員 100 名

登壇者 | 鈴野 浩一（トラフ建築設計事務所）

熊野 亘（プロダクトデザイナー）

山中 洋（マルニ木工 代表取締役社長）

ファシリテーター | 柴田 隆寛（編集者）

R.S.V.P | トークイベントご参加いただける際は、

下記のフォームより 10 月 13 日（月・祝）までお申し込みください。

申込フォーム>> <https://maruni.zohobackstage.jp/kupusauna>



PRESS CONTACT

株式会社マルニ木工 広報・PR 橋爪

tel.03-5614-6598 press@maruni.com Web: www.maruni.com

PR SUPPORT

デイリープレス（担当：川村）

tel.03-6416-3201 mihokawamura@dailypress.org